

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報			
事務事業名	庁舎施設維持管理事務		担当課 財政課
総合計画	政策	信頼に応える行政運営	計画期間 年度～
	施策	適正な行財政運営の推進	種別 任意的事務
	基本事業	公有財産の有効活用と適切な管理	市民協働
予算科目コード	01-020104-01 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
平成2年11月、現在の場所に庁舎が完成し、庁舎施設維持管理事務が始まった。	庁舎や付帯設備の維持管理を業務委託により行う。 《内容》 建物清掃業務、庁舎夜間警備業務、警備保障業務、空調設備保守点検業務、庁舎設備運転管理業務、植栽管理委託、電話交換業務等
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
庁舎や付帯設備の維持管理を行い、市民や職員が快適に利用できるようにする。	
（参考）基本事業の目指す姿	
公有財産の有効活用と適切な管理を行う。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
公共施設等の適正な維持管理や長寿命化を進めるため、平成27年度に公共施設等総合管理計画を策定した。公共施設等総合管理計画に基づき、庁舎の修繕を適正に実施する。	公共施設等総合管理計画に基づき、庁舎の適正な維持管理や長寿命化を図るため、財政計画等も勘案し、修繕計画の検討・見直しを進めた。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
突発的な修繕件数（件）	35.00	22.00	17.00	17.00	15.00
施設改修に伴う機能向上件数（件）	35.00	22.00	17.00	17.00	15.00
成果の動向（→その理由）					
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	策定した修繕計画等を基に、今後の修繕の予算確保を行うとともに、改修に向けた工事の実施設計等を進めることにより成果が向上する。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	平成29年度に庁舎空調設備の一部修繕（修繕費）を行い、設備の長寿命化を図るとともに、庁舎空調設備の調査を進め、大規模改修の検討を進める。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	131,659	89,982	112,100	92,343	92,343
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	5,170	3,657	3,657
	一般財源	131,659	89,982	106,930	88,686	88,686
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	919.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	3,768	0	0
トータルコスト		131,659	89,982	115,868	92,343	92,343

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報			
事務事業名	普通財産維持管理事業	担当課	財政課
総合計画	政策	信頼に応える行政運営	計画期間 年度～
	施策	適正な行財政運営の推進	種別 任意の事務
	基本事業	公有財産の有効活用と適切な管理	市民協働
予算科目コード	01-020104-02 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>市が所有する財産について、未利用市有地は財政計画に基づき売却を進め、また、普通財産については、維持管理のため除草等を行っている。</p>	<p>未利用市有地については、財政計画に基づいて、入札により売却を行う。また、売却ができない土地については、業務委託により除草を行い、適正に維持管理を行う。</p>
<p>目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）</p> <p>利用計画のない未利用市有地については、財産の有効活用を図るため、売却し財源確保を図る。また、業務委託により除草等を行い適正に管理する。</p>	
<p>（参考）基本事業の目指す姿</p> <p>公有財産の有効活用と適切な管理を行う。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
<p>次年度のコストの方向性（→その理由）</p> <p><input type="checkbox"/>増加  <input type="checkbox"/>維持  <input type="checkbox"/>削減</p>	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
中央地内の未利用市有地の売却は、中央三丁目、四丁目を販売し、ほぼ終了した。残り少ないが、未利用市有地の更なる処分が必要である。また、普通財産の除草について、管理上必要最低限の経費で進めた。	宅地として売却できる未利用市有地はほぼ無くなり、残っている中央地内の未利用市有地の売却は、松並地区の販売状況等を見たうえで検討が必要である。普通財産については、効率的な除草等維持管理に努めたが、今後、ボランティアの募集など管理方法の検討や何かに活用ができないかなど運用方法の検討を図る必要がある。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
貸付面積（㎡）	10,109.00	10,109.00	10,109.00	10,109.00	10,109.00
売却面積（㎡）	387.00	4,658.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下	宅地として販売できる市有地がほぼ無くなり、新たな財源確保は難しいと思われる。残っている未利用地は除草作業を行わなければならない、成果の向上は見込めない状況にある。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	売却の難しい未利用市有地や普通財産については、ボランティアの募集など管理方法の検討や何かに活用できないかなど運用方法の検討を図る必要がある。				

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	6,609	136,371	5,410	12,316	12,316
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	6,609	136,371	5,410	4,591	4,591
	一般財源	0	0	0	7,725	7,725
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	231.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	947	0	0
トータルコスト		6,609	136,371	6,357	12,316	12,316

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報			
事務事業名	公用車配置事務	担当課	財政課
総合計画	政策	信頼に応える行政運営	計画期間 年度～
	施策	適正な行財政運営の推進	種別 任意的事務
	基本事業	公有財産の有効活用と適切な管理	市民協働
予算科目コード	01-020104-04 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>公用車が増加し効率的な配置及び管理が必要になった。</p>	<p>各部署に適正に公用車を配置し、公用車の状態管理を行う。また、車両の購入、廃車を行うとともに、安全確保のため任意保険の加入事務を行う。</p>
<p>目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）</p> <p>公用車の適正な管理を行い、効率的な利活用を進め、円滑に事務事業を進める。</p>	
<p>（参考）基本事業の目指す姿</p> <p>公有財産の有効活用と適切な管理を行う。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<p>改善内容（課題解決に向けた解決策）</p>	
<p>次年度のコストの方向性（→その理由）</p>	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
公用車の適正な管理を行い、効率的な利活用を進め、円滑に事務事業を進めた。また、職員の安全意識の改善などにより安全運転を徹底し、保険の利用料を抑えるように努めた。なお、各課の公用車予約管理等が効率的に行われておらず、運営方法の検討が必要となっている。	事務改善研究会において、公用車の利活用方法の検討を進めた。検討の結果、部管理の公用車について、平成29年度から財政課で一元管理することにより効率的な利用を行い、保有台数の削減を図ることとした。また、公用車全車にドライブレコーダーを設置し、市内の防犯に努めるとともに、安全運転の啓発を進めた。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
任意保険利用割合（%）	9.00	7.00	6.25	6.00	5.00
公用車配置購入台数（購入台数－廃車台数）（台）	-1.00	3.00	-1.00	0.00	-1.00
成果の動向（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	公用車の老朽化が進み、買い替え等が必要な車両が増加している。メンテナンス等により車両の長寿命化を進め、成果の維持を図っている。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	公用車の一元管理により、公用車の効率的な利用を進め、保有台数の削減に努める。更に、職員の安全運転に対する意識改革を進め、事故防止による有利な保険契約加入により経費削減を図る。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	3,671	8,147	4,675	10,124	10,124
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	222	222
	一般財源	3,671	8,147	4,675	9,902	9,902
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	55.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	226	0	0
トータルコスト		3,671	8,147	4,901	10,124	10,124